
駄菓子屋の猫

飴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

駄菓子屋の猫

【コード】

N9189M

【作者名】

飴

【あらすじ】

お題SS合戦

お題：駄菓子屋の猫

芸熊さんのお題SS合戦です>><

芸熊さんのSSはこちら

<http://ncode.syosetu.com/n9370m/>

(前書き)

お題SS合戦

お題：「駄菓子屋の猫」

芸熊さんとのバトルです>><

駄菓子屋の猫

「おばちゃん！これください！」

ボクは1個30円の袋菓子を手に、おばちゃんを呼んだ。

「はいはい」

奥から出てくる駄菓子屋のおばちゃん。

もうこの土地で何十年も駄菓子屋をやってるらしい。

「はい、30円ね」

お金を渡しながら

「あれ？今日はクロいないの？」

いつもはそこいらの床で横になって涼んでいる猫を目で探した。

「この暑さだからねえ。奥の部屋で涼んでるよ。あ、今出てきたよ
全身真っ黒な猫が奥からゆっくりと出てきた。

クロ〜と言いながら触ろうとする。

クロはおとなしい猫だが、触ろうとすると、毛を逆立ててシヤア
ッと逆らってくる。

「ちえ、ボクのこと嫌いなのかな」

「そんなことないよ」。誰にだってこうだからしょうがないんだよ」

「でもおばちゃんにはいつもすりすりしてるよね」

そう言っつて、おばちゃんの足下にすりすりする、駄菓子屋の黒猫
を眺めた。

「そうだねえ。飼い主だからかねえ。でも無愛想で困っちゃっつよ
おばちゃんは、優しく笑った。

夏休みも中盤にさしかかったある日。

「今日はどれにしようかな」

ボクはいつものようにお菓子を選んでいた。
するとクロが寄ってきた。

「あれー、クロ、珍しいね」

撫でようとしても嫌がらない。しばらく撫でてから、おばちゃんを呼んだ。

「おばちゃんーん」

だが、出てきたのは見たことのないおじさんだった。

「悪いねえ。今日はおばちゃん休みなんだよ。」

「おばちゃんの日那さんですか？」

「そっだよー」

そっ言いながら会計してくれた。

「おばちゃん、病気なんですか？」

「うん、ガンっていう難しい病気にかかって入院してるんだからしばらく店には出られないんだよ」

クロが寂しそうに「なあご」と一声あげた。

「そっなんですか・・・。おばちゃんにがんばって！と伝えてください」

「わかったよ。ありがとうね」

おじさんは、おばちゃんと同じように、優しく笑った。

あつという間に夏休みは終わり、久しぶりにいつもの駄菓子屋さんに顔を出してみた。

「あ、おばちゃん！」

おばちゃんは棚にお菓子を並べていた。

「あら、久しぶりね」

おばちゃんはいつものように優しく笑った。だが少し痩せて見えた。

「おばちゃん元気になったの!？」

「もう元気だよ！心配かけてごめんね。早期発見だったからすぐ治

「つたんだよ」

「ガンって聞いたからびっくりしたよ。元気になって良かったね！」

「ありがとうねえ」

「あれ？クロは？」

「この間はすりよってきたクロが居ない。おばちゃんがクロ〜と呼ぶと、「なあ」と一声聞こえてから、ゆっくりとおばちゃんの足下にすりよった。」

「やっぱり、クロの居場所はおばちゃんなんだね」

「もうちよつと無愛想も直れば助かるんだけどねえ」

おばちゃんは、少し痩せた体でいつものように優しく笑って、クロの体を撫でた。

駄菓子屋の黒い猫も少し、笑ったように見えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9189m/>

駄菓子屋の猫

2011年10月7日16時10分発行